

● 漢方研究会レポート

百合会ワークショップ

名古屋^{びやくごうかい}百合会は、新しい漢方の情報発信源として愛知県を中心に精力的な研究活動を行っている勉強会組織である。会員による定期

的な例会、機関誌「The Journal of Phytotherapy Φyto(フィット)」発行のほか、漢方医学の啓蒙と次世代を担う若手医師、薬剤師の育成を目的として、一昨年より「百合会ワークショップ」を主催している。

「百合会ワークショップ」は、名古屋市内のカネボウ薬品株式会社の会議室を利用して隔月開催され、講義のほか実際の症例を題材としたグループディスカッションが盛り込まれるなど、受講者は自分で考えることを求められる。代表の灰本 元先生は、『人前で発表し恥をかくことが進歩につながる』という。

第10回百合会ワークショップ(平成15年11月22日開催)

【プログラム】	●漢方基礎講座 (20分)：漢方で用いられる用語 (8)	安井 廣迪 先生 日本TCM研究所
	●処方解説 (20分)：抑肝散	森 晃基 先生 森医院
	●生薬解説 (20分)：当帰	宮嶋 雅也 先生 株式会社板本天海堂
	●症例検討 (50分)：不妊の一症例	灰本 元 先生 灰本医院／間瀬 定政 先生 ませ薬局

当日行われた症例検討

症 例：29歳、女性、パート介護士(主婦)

主 訴：月経不順、疲れやすい、子供がほしい、太りたい、冷え症

現病歴：中学生の頃から月経不順(50日～ないこともしばしば)、仕事で疲れたり、精神的にストレスがあると月経が止まった。学生時代はマラソン選手で体重は38kg。

スピードはないが持久力はある選手。結婚して3年。最近では1年間無月経で、あちこちの産婦人科(不妊専門)を受診し、ホルモン療法などを受けていた。

上記主訴で平成13年11月29日初診、最も強く訴えたのは月経不順と妊娠希望。

現 症：体重41kg、身長156cm、血圧118/82mmHg、脈拍90、顔色白く不良、見るからに弱々しい。

舌 象：淡紅、歯痕なし、瘀斑なし、舌苔は白薄苔、膩苔なし、やや乾燥。

脈 象：滑、弱、力はある。

腹 象：胸脇部と腹直筋に軽い抵抗、心下圧痛なし、胃内停水なし。

漢方問診：疲れやすい、不安が強い、皮膚が乾燥して痒い、食欲はまあまあ、熱いものが好き、口渇なし、疲れたりストレスがかかると不眠、夢は多くない、腹部症状はない、足が冷える、主訴以外に不定愁訴はほとんどない、便秘なし、月経周期は50日以上か脱落、おりものは多くない、月経量は中くらい、月経痛はない、乳房は張らない、血塊は混ざらない、経血はヨーグルト状ではなく、色もチョコレート色ではない。

診 断：血虚+気虚+軽い陰虚

治療経過：平成13年11月29日：当帰10、白芍薬12、川芎7、人参6、桂皮12、生姜8、麦門冬10、甘草5

12月14日：足が温まり、不眠改善、同一処方

平成14年 3月12日：元氣、体重少しずつ増加、海外出張、+茯苓、-麦門冬

3月26日：当帰芍薬散(煎剂)+人参湯(エキス剂)

4月16日：2年ぶりの月経、顔色良好。煎剂とエキス剂

5月 2日：海外出張のためにエキス剂同一処方

5月28日：煎剂の方が「飲んでいてという気がする」とのこと、3月の煎じ処方へ戻した。

7月 9日：生理遅れている。44日くらい空いている(実は妊娠だった)。

平成15年1月まで煎剂同一処方(流産予防)

平成15年 3月13日：出産

5月 : 人参6、黄耆15、当帰8、白芍薬10、何首烏10、大棗10

6月 : 体重39kg(妊娠時より減少)、当帰芍薬散(煎剂)+人参湯(エキス剂)

本表の診断および治療経過の処方部分をマスクした形で症例提示がなされ、これに対してどのように弁証し治療を行うか、いくつかのグループに分かれてディスカッションが行われた。各グループには2～3名の名古屋百合会メンバーが加わり指導にあたられた。

各グループとも弁証は気血両虚を主体として腎精不足や肝鬱などをあげ、活発な討議がなされた。